

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】平成29年3月23日(2017.3.23)

【公表番号】特表2016-511488(P2016-511488A)

【公表日】平成28年4月14日(2016.4.14)

【年通号数】公開・登録公報2016-023

【出願番号】特願2016-501322(P2016-501322)

【国際特許分類】

G 0 6 F 3/01 (2006.01)

G 0 6 F 3/0488 (2013.01)

【F I】

G 0 6 F 3/01 5 7 0

G 0 6 F 3/0488

【手続補正書】

【提出日】平成29年2月16日(2017.2.16)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

第1のセンサで、制御オブジェクトによるジェスチャ入力の少なくとも一部を検出するステップであって、前記検出するステップは、ユーザデバイス上の前記第1のセンサによって、前記ユーザデバイスの前面、および前記第1のセンサと前記ユーザデバイス上の第2のセンサとの間の遷移領域の外のジェスチャ入力に関連付けられたオンスクリーンの入力データを捕捉するステップを備える、ステップと、

前記制御オブジェクトが前記遷移領域へ移動したと決定することに応答して、

前記第2のセンサで、前記ジェスチャ入力の後続部分を検出するか否かを決定するステップであって、前記ジェスチャ入力の一部および前記ジェスチャ入力の前記後続部分が同一のジェスチャに対応する、ステップと、

前記制御オブジェクトが前記遷移領域内に位置付けられていると決定すると、前記第2のセンサで、オフスクリーンのジェスチャ入力検出を開始するステップと、

前記第1のセンサから前記第2のセンサへのジェスチャ入力の前記後続部分の検出のハンドオフを実行するステップであって、前記ハンドオフを実行するステップが、前記第1のセンサによって前記ジェスチャ入力の前記後続部分の検出を中止するステップを含む、ステップと

を備える、方法。

【請求項2】

前記遷移領域はさらに、少なくとも前記第1のセンサから前記第2のセンサへのハンドオフの間、ジェスチャ入力を決定することに対する連続した解像度が存在する領域を備える、請求項1に記載の方法。

【請求項3】

前記方法はさらに、

前記第2のセンサで、前記ジェスチャ入力の前記後続部分を検出すると決定されたとき、連続したジェスチャ入力を提供するために、前記オンスクリーンのジェスチャ入力データをオフスクリーンのデータと組み合わせるステップを備える、請求項1に記載の方法。

【請求項4】

前記オンスクリーンのジェスチャ入力データを捕捉する前記ステップはさらに、スクリーンの上でタッチレスなジェスチャ入力データを捕捉するステップを備え、前記オフスクリーンのジェスチャデータはさらに、オフスクリーンのタッチレスなジェスチャ入力データを備え、前記方法はさらに、前記スクリーンの上で捕捉された前記タッチレスなジェスチャ入力データを、前記オフスクリーンのタッチレスなジェスチャ入力データと同期するステップを備える、請求項3に記載の方法。

【請求項5】

前記オンスクリーンのジェスチャ入力データを捕捉する前記ステップはさらに、オンスクリーンのタッチジェスチャ入力データを捕捉するステップを備え、前記オフスクリーンのデータはさらに、タッチレスなジェスチャデータを備え、前記方法はさらに、前記オンスクリーンのタッチジェスチャ入力データを前記タッチレスなジェスチャデータと組み合わせる前記ステップを介して、動作を制御するステップを備える、請求項3に記載の方法

【請求項6】

前記オンスクリーンのタッチジェスチャ入力データを前記タッチレスなジェスチャデータと組み合わせる前記ステップは、1つの連続したコマンドを生成する、請求項5に記載の方法。

【請求項7】

前記オフスクリーンの入力検出はさらに、ユーザデバイスの1つまたは複数の端上で、超音波または1もしくは複数の広角度撮像素子を使用することを備える、請求項1に記載の方法。

【請求項8】

前記オンスクリーンでのジェスチャ入力データは、前記ユーザデバイス上で、タッチスクリーンまたは前面对向画像センサを使用して捕捉される、請求項1に記載の方法。

【請求項9】

前記制御オブジェクトが、前記遷移領域内に位置付けられている間、前記第1のセンサおよび前記第2のセンサの両方を使用して、前記制御オブジェクトからジェスチャ入力を検出するステップをさらに備える、請求項1に記載の方法。

【請求項10】

前記検出するステップはさらに、ユーザデバイスによって、オフスクリーンのジェスチャ入力データを捕捉するステップを備え、

前記方法はさらに、

前記第2のセンサで、前記ジェスチャ入力の前記後続部分を検出すると決定されたとき、連続したジェスチャ入力を提供するために、前記オフスクリーンのジェスチャ入力データを、オンスクリーンのジェスチャデータと組み合わせるステップを備える、請求項1に記載の方法。

【請求項11】

前記オフスクリーンのジェスチャ入力データを捕捉する前記ステップはさらに、オフスクリーンのタッチレスなジェスチャ入力データを捕捉するステップを備え、前記オンスクリーンのジェスチャデータはさらに、オンスクリーンのタッチレスなジェスチャ入力データを備え、前記方法はさらに、前記オフスクリーンのタッチレスなジェスチャ入力データを、前記オンスクリーンのタッチレスなジェスチャ入力データと同期するステップを備える、請求項10に記載の方法。

【請求項12】

ユーザデバイスにおける、制御オブジェクトによるジェスチャ入力の少なくとも一部を検出するための第1の手段であって、検出するための前記第1の手段は、前記ユーザデバイスの前面、および前記第1の手段と前記ユーザデバイスにおける検出するための第2の手段との間の遷移領域の外のジェスチャ入力に関連付けられたオンスクリーンの入力データを捕捉するための手段を備える、手段と、

前記制御オブジェクトが前記遷移領域に移動したと決定することに応答して、検出する

ための前記第2の手段で、前記ジェスチャ入力の後続部分を検出するか否かを決定するための手段であって、前記ジェスチャ入力の前記一部および前記ジェスチャ入力の前記後続部分が同一のジェスチャに対応する、手段と、

前記制御オブジェクトが前記遷移領域に位置付けられると決定すると、検出するための前記第2の手段で、オフスクリーンのジェスチャ入力を検出するための手段を開始するための手段と、

前記第1の手段から前記第2の手段へのジェスチャ入力の前記後続部分の検出のハンドオフを実行するための手段であって、前記ハンドオフを実行することが、前記第1の手段によって前記ジェスチャ入力の前記後続部分の検出を中止することを含む、手段と

を備える、装置。

【請求項13】

前記遷移領域はさらに、少なくとも検出するための前記第1の手段から、前記検出するための第2の手段へのハンドオフの間、ジェスチャ入力を決定することに対する連続した解像度が存在する領域を備える、請求項12に記載の装置。

【請求項14】

前記装置はさらに、検出するための前記第2の手段で、前記ジェスチャ入力の前記後続部分を検出すると決定されたとき、連続したジェスチャ入力を提供するために、前記オンスクリーンのジェスチャ入力データを、オフスクリーンのデータと組み合わせるための手段を備える、請求項12に記載の装置。

【請求項15】

コンピュータ可読命令が記憶された非一時的コンピュータ可読記憶媒体であって、前記命令は、プロセッサによって実行されると、前記プロセッサに請求項1～11のいずれか一項に記載の方法を実行させる、非一時的コンピュータ可読記憶媒体。